

平成25年度 定期監査等の結果（指摘事項）に基づく措置状況等の報告

- | | |
|----------|-------------|
| 1 監査の種類 | 定期監査及び行政監査 |
| 2 監査対象 | 会計管理室 |
| 3 監査実施期間 | 平成25年 8月22日 |
| 4 監査結果報告 | 平成25年11月25日 |

監査の結果（指摘事項）

措置（具体的内容）・対応状況

【会計管理室】

<p>(1) 臨時職員の任用手続きについて 臨時職員の任用に関する決裁において、通勤届の日付が漏れていた事例が見受けられた。任用手続きにおいて不備のない適切な事務処理を行うこと。</p>	<p>【措置済】 平成25年 9月12日 臨時職員の任用に関する決裁における、通勤届の日付漏れについては是正した。 また、定期監査以後に行った更新任用手続きにおいて、日付漏れ等のないよう確認を徹底し適切に事務処理を行った。</p>
---	---

平成 2 5 年度 定期監査等の結果（意見）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 定期監査及び行政監査
- 2 監査対象 会計管理室
- 3 監査実施期間 平成 2 5 年 8 月 2 2 日
- 4 監査結果報告 平成 2 5 年 1 1 月 2 5 日

監査の結果（意見）

措置（具体的内容）・対応状況

【会計管理室】

<p>(1) 適正な会計事務の指導・徹底について 会計実地検査の際には、会計関係書類に関する法的な意味やその必要性についても丁寧に指導すること。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 5 月 2 3 日 会計実地検査においては、会計関係書類の確認の際に不適切な処理がある場合は検査職員により指導を行っているが、各所属の担当者の事務処理能力に合わせた適切な指導を心がけ、場合によっては担当者と法律論を交えた協議を行い、事務処理能力の向上を図っていく。</p>
<p>(2) 会計知識の習得について 市の歳入歳出は、資金の収支を記録するだけの単式簿記となっているが、今後、複式簿記の考え方による会計方式の導入の可能性もある。会計管理室職員の複式簿記に関する知識の習得に努めること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日 会計実地検査においては今年度も実施し、不適切な処理がある場合は会計規則等関係法令を示しながら、わかりやすい指導を心がけている。また、検査時に担当者を指導するだけでなく、検査後の各所属長宛の報告書についても、理解しやすい記載内容とし、各所属全体で指示事項等を認識しやすくすることで事務処理能力の向上を図っていく。</p> <p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 5 月 2 3 日 今後の会計制度改正の可能性に備え、会計管理室職員の複式簿記に関する知識の習得は必要と考えており、今後も外部団体の講義に参加する等複式簿記の習得に努めていく。</p> <p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日 今後の会計制度改正に備え、会計管理室職員の複式簿記に関する知識の習得は必要であるため、引き続き外部団体の講義へ参加する等複式簿記の習得に努めていくとともに、財政経営課と連携し会計制度改正等の情報収集にも努める。</p>

<p>(3) 労務管理の徹底と時間外勤務の縮減について 時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。また、特定の職員に業務の集中が見られるため、各所属長は係間での応援体制や事務分担の適正化・平準化を図ること。さらに、職員の健康管理の面から、労務管理の徹底と業務の効率化、省力化を図り、時間外勤務の縮減に向けた取組みに努めること。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成26年 5月23日 所属全体で時間外勤務の縮減に努めてきた結果、この数年間所属の総時間外勤務時間数は2,000時間未満で推移してきた。25年度はベテラン職員が異動し、経験年数が少ない職員が数名在籍したこと、時間外対象職員が増えたことにより、総時間外勤務時間数は2,307時間と増加したが、職員1名あたりの平均時間外数は前年度並みであった。今後は係内での業務の分散、応援体制の確立を図り、時間外勤務縮減に努める。</p>
<p>(4) 収納データ作成業務委託について 収納データ作成業務委託等を1者単独随意契約で行っているため、他市の状況を調査するなど情報を収集し、金額や業務品質の妥当性を検証し、委託業者に対し交渉や牽制を行うこと。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成26年11月25日 25年度はベテラン職員の異動や経験年数が少ない職員が在籍したこと等で総時間外勤務時間数は増加した。市全体の適正な会計事務執行のためには、会計管理室での審査の精度や各所属への指導的役割は不可欠であり、年々重視されていることから業務時間は増加傾向であるが、業務の効率化や事務分担の適正化・平準化を図り、振替休日の取得も推進することで時間外勤務縮減に努める。</p> <p>【 継続努力 】 平成26年 5月23日 収納データ作成業務委託等は、公金の取りまとめ業務と密接に関連している業務であるため、指定金融機関(株三重銀行)と契約している。毎年の契約更新の際、金額や業務品質について再検証を行い、交渉や牽制を継続していく。</p> <p>【 継続努力 】 平成26年11月25日 収納データ作成業務委託等は、公金の取りまとめ業務と密接に関連している業務であるため、指定金融機関(株三重銀行)と契約している。委託先にも経験年数が長い職員がおり、業務全体がよく把握されているため、問題が生じて最低限の調整で対応が可能である。委託金額や業務品質については、契約更新時期に検証を行い、交渉や牽制を行っていく。</p>
<p>(5) 金融機関の経営状況の確認について 金融機関実態調査を定期的に行い、金融機関の経営状況の判断を行っている。加えて、金融庁のホームページを活用し、本市が関わる金融機関の情報入手に努めること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成26年 5月23日 調査会社から月例の報告及び中間決算・本決算時の状況について報告を受け、金融機関の経営状況の把握を行っている。また、預託実績が多い金融機関からは、決算期ごとに支店長より決算状況の報告を受けている。そのほかにも金融庁のホームページの活用や金融機関の株価の推移等にも注意し、引き続き本市が関わる金融機関の情報入手に努めていく。</p> <p>【 継続努力 】 平成26年11月25日 調査会社から引き続き月例の報告や中間決算・本決算時の状況について報告を受けて、金融機関の経営状況の把握を行っている。また、預託実績が多い金融機関からは、決算期ごとに支店長より報告を受け、決算状況に変化があった際は変化理由について説明を受けている。また、引き続き金融庁ホームページの定期的な確認や金融機関の株価の推移等にも注目し、情報入手に努めていく。</p>

<p>(6) 地方制度調査会等の情報収集について 将来的な財務会計システム更新に備えて、会計事務や財務会計システム等に関わるものについて、地方制度調査会で議論されている事例があれば、その都度、情報を収集するなど国の動向を把握するよう努めること。 【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 5 月 2 3 日 今後の会計制度の改正の動き、将来の財務会計システム更新に備え、三重県出納局からの情報提供や総務省ホームページ等を定期的に確認するなど、引き続き情報収集に努めていく。</p>
<p>(7) 資金運用について 他市の事例を参考にし、資金運用方法について研究を行ったことは評価したい。次のステップとして、公営企業や公社の他会計の資金も含めて市全体の資金運用の効率性、有効性についても、引き続き研究すること。 【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日 財務会計システムの更新に備え、会計制度やシステムに関する情報を総務省ホームページ等で確認するとともに、県と市町の意見交換の場や県内他市との研修会等の場で情報収集を行い、国の動向を把握するよう努めていく。</p>
	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 5 月 2 3 日 市全体での資金運用の観点から、財政経営課、上下水道局・市立四日市病院の企業会計とも連携し資金運用を実施してきた。今後も安全性を第一義とし、流動性を確保しながら効率的な運用に努めていく。</p>
	<p>【 継続努力 】 平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日 資金運用の方針については、定期的に財政経営課と連携・調整し、運用を実施している。上下水道局・市立四日市病院の企業会計とは、預託替時期を中心に連絡をとり、預託先や利率などについて情報交換を行っている。今後も引き続き安全性を第一義とし、流動性を確保しながら効率的な運用に努めていく。</p>